

© 小林和史 / 講談社

事業化企業コラム

ロボット・ドローン分野

- 実施期間  
2019~2020 年度
- 実用化開発場所  
南相馬市、伊達市

株式会社リビングロボット

# 寄り添って、一緒に成長していく。 人とロボットは、より良い明日へ

事業計画

## Partner Robot Platform (PRP) 開発

### 現状・背景

珍しい存在から当たり前の存在へ。ロボットは一人に一台、という時代が訪れています。身近な道具から人生のパートナーへと役割が進化。日々の歩み、趣味や考え方に寄り添い、気持ちに添えてくれる存在になりました。私たちは、人とロボットが共に生きる社会を実現するパートナーロボットプラットフォームを開発しています。

### 研究(実用化) 開発のポイント・先進性

小学校でプログラミング教育が必修化され、注目を集めているのが、開発第一弾である教育用コミュニケーションロボットの「あるくメカトロウィーゴ」です。親しみやすく個性的なメカトロウィーゴのデザインを採用し、高さ約13cm・重さ約230gで照度センサー・カメラ・距離センサーなどを内蔵しているため二足歩行します。腕や脚をスムーズに制御するため、動力伝達装置を組み込んだサーボモーター8個を搭載。この基幹パーツは独自仕様です。児童がScratch(スクラッチ)というソフトウェアを用い、タブレット端末でプログラムを入力することで、さまざまな動作を指示できます。楽しく実践的な教育コンテンツは、インターネット経由のクラウドシステムで継続的に活用できます。

## 浜通り地域への経済波及効果(見込み)

株式会社リビングロボット 代表取締役社長  
川内 康裕

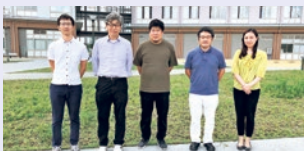
2020年度、あるくメカトロウィーゴを国内外へ150台ほど出荷しました。伊達市および近隣自治体に始まり、各地で導入が進みそうです。自社オンラインショップ立ち上げ、代理店契約による法人向けプロモーション強化で年間1,000台超の製造・販売を計画しています。

## イノベ機構による支援※

マッチングや情報交換の機会を得られ、特化したノウハウを持つさまざまな得意分野を有する地元事業者との接点が増えました。教育用ロボットの基板設計や筐体(外装部品)製造について協業の意向が強い当社にとって、ふさわしい相手先を紹介していただけなので感謝しております。異業種交流組織「福島イノベ倶楽部」のイベントでは、当社の事業をプレゼンする機会を得ました。日々福島に根ざしつつあると、実感を深めております。



※福島イノベーション・コースト構想推進機構(イノベ機構)によるイノベ構想関連開発技術の事業化支援(本冊子 P108を参照)



法人概要

### 株式会社リビングロボット

〒960-0426  
福島県伊達市坂ノ下15

創業 ▶ 2018年4月1日  
従業員数 ▶ 16名  
TEL ▶ 070-2653-1376  
URL ▶ <https://livingrobot.co.jp/>